

一 標註所引文中に於て、括弧を以て圍みし部分は、凡て著者の附加せる記述なり。
一 經文番號或は標註番號の傍に*印あるは、二一二頁に、其の補註あり。
一 卷末に、孔子年表・三桓世系表・論語解說・朱熹略傳・集註解說・集註標註所引注家說者略傳・論語孔子關係地名現地比定・論語孔子關係地圖・朱熹關係地圖を附載し、以て學習と理解とに便す。而して、此等亦漢文を以て記したるは、標註に準じたるなり。
一 附註は、對經式附註の如きも、其の著者たるもの對經式附註の如きも、在漢代の一冊にして集註を成すもの附註中、*印ある箇處に於て、其の別あり。
一 集註附註の如き附註、まことに學主の編習に適當と思はるるもののみを採り、附註附録す。
一 集註附註附註の如き附註、附録す。附録附註の如き附註、附録附録す。附録附録の如き附註、附録附録す。
一 集註中、宋學とばるるもの附註、附録す。其の中、*印あるもの、附録附録す。附録附録の如き附註、附録附録す。
一 附録附録、學問の如きもの、附録附録す。附録附録の如き附註、附録附録す。附録附録の如き附註、附録附録す。
一 附録附録の如き附註、附録附録す。附録附録の如き附註、附録附録す。附録附録の如き附註、附録附録す。
一 附録附録の如き附註、附録附録す。附録附録の如き附註、附録附録す。附録附録の如き附註、附録附録す。

凡例

目次

導言・凡例	一
卷之一	一
學而第一	一
爲政第二	六
卷之二	六
八佾第三	一五
里仁第四	二四
卷之三	二四
公治長第五	三三
雍也第六	四〇
卷之四	四〇
述而第七	五一
泰伯第八	六三
卷之五	六三
子罕第九	七

鄉黨第十	八〇
卷之六	
先進第十一	九一
顏淵第十二	一〇一
卷之七	
子路第十三	一一三
憲問第十四	一二四
卷之八	
衛靈公第十五	一四一
季氏第十六	一五二
卷之九	
陽貨第十七	一六四
微子第十八	一七四
卷之十	
子張第十九	一八三
堯曰第二十	一九一
附錄	一九七

論語卷之一

宋 朱熹集註(刪修)

日本 後漢 漢末 抄本

學而第一

此篇論之有學而後多知年之成其人道之門標語之美學者之先務也凡十有九

本

文曰學而時習之不亦說乎

有朋自遠方

來不亦樂乎

人不知而不愠不亦君子乎

有子曰其為人孝弟而好犯上者鮮矣

不好犯上而好作亂者未之有也

此篇論之有學而後多知年之成其人道之門標語之美學者之先務也凡十有九

論語卷之一

宋 朱熹集註(刪修)

日本越後渡邊末吾標註

學而第一

此爲書之首篇。故所記多務本之意。乃入道之門。積德之基。學者之先務也。凡十六章。

①子曰。學而時習之。不亦說乎。

說悅同。○學之爲言。效也。習。鳥數飛也。學

之不已。如鳥數飛也。說。喜意也。既學而又時時習之。則所學者熟。而中心喜說。謝氏曰。時習者。無時而不習。

有朋自遠方來。不亦樂乎。

朋。同類也。人不知而不愠。不亦君子乎。愠。含怒意。君子。成德之名。尹氏曰。學在己。知不知在人。何愠之有。

②有子曰。其爲人也。孝弟而好犯上者。鮮矣。不好犯上而好作亂者。未之有也。

有子。孔子弟子。名若。善事父母。

- ① 東條一堂云。子者。尊稱。孔門尊稱夫子。猶稱先生。
- 2 伊藤仁齋云。時。溫習。
- 3 阮元寧經室集云。此章三節。皆孔子一生事實。終篇曰。不知命。無以爲君子。與此始終相應。
- 4 愠。詩邶風。柏舟。毛傳云。怒也。一切經音義云。恚也。說文云。怨也。廣雅釋詁云。愁也。○參考衛靈公①子路愠。
- ② 1 也。示主格助辭。下文孝弟也者之也者。二字亦同。
- 2 仁齋云。亂。逆理反常之事。案本立而道生者。一般論也。道者。達於目的之通路。而又行之。於途也。立。確立也。
- 4 皇侃云。此更以孝悌解本。以仁釋道。言孝是仁之本。若以孝爲本。則仁乃生也。○卷子本正。平本其下無爲字。○案上句。與此句之間。文意有飛躍。從道而行。則達於仁。完成仁矣。故得言孝弟者。仁之